

平成29 年度（ 28 年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 29 年 7 月 12 日

1 事務事業 の 現状 (DO)	事務事業名	No. 650202 駅周辺整備事業費	主管課名		道路河川課							
	この事務事業 の位置	政策	魅力ある活力とにぎわいのまち		課長名	渡辺輝久矢						
		施策	にぎわいと交流のあるまち									
		基本事業	魅力ある駅前づくり									
	(1)事業の概要											
	駅周辺地区の魅力づくり、にぎわい空間の創出として、駅前広場、駅周辺の関連施設及び市道三好丘駅前線の再整備を行う。				(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)							
					名 称		単位					
					基本・実施設計作成件数		件					
					整備面積		m ²					
					その指標							
(28年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		再整備基本構想策定業務委託（三好ヶ丘駅前広場、市道等）発注 現場測量 基本構想案の策定 完了検査 支払業務										
29年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容										
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)								
駅利用者				名 称		単位						
				みよし市民		人						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)				(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)								
駅利用者が満足し安全に利用できるようにする				名 称		単位						
				「まちの顔づくり」の満足度		%						
(4)結果(上位基本事業の意図)				(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)								
市民が安心して出かけられ、賑わいのある駅周辺の施設整備を推進する				名 称		単位						
				さんさんバス利用者数		人						
				三好ヶ丘駅乗降客数		人						
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	27年度実績値	28年度実績値	29年度計画値	30年度目標値	31年度目標値	32年度目標値				
(5)の活動指標		件		1	1	1	0	0				
		m ²		0	0	0	2,000	4,000				
(6)の対象指標		人		60,982	61,154	61,449	61,744	62,036				
(7)の成果指標		%		12.1	12.1	12.1	12.3	12.5				
(8)の結果の成果指標		人		301,581	302,000	302,000	303,000	304,000				
		人		3,470,087	3,471,000	3,471,000	3,472,000	3,473,000				
(10)予算費目	会計	01 一般会計					款	08	項	04	目	02
(11)コスト		年度	27年度実績値	28年度実績値	29年度計画値							
事業費 (決算又は予算額)		単位	0	7,680	17,355							
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0							
	県支出金	千円	0	0	0							
	地方債	千円	0	0	0							
	その他	千円	0	0	0							
	一般財源	千円	0	7,680	17,355							
人件費 B		千円	0	5,586	5,163							
正職員従事時間×人数		時間×人	×	300 × 5	300 × 5							
正職員以外の人件費		千円										
その他費用 C		千円		500	500							
トータルコスト A+B+C		千円	0	13,766	23,018							
単位あたりコスト (トータルコスト / (6)の対象指標)		千円/ 人		0	0							
		千円/										
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	650202 駅周辺整備事業費
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成28年度から		都市再生整備計画を作成し、事業を計画的に進めるための依存財源の確保が必要。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？		
三好ヶ丘駅は公共交通と一般交通が交錯し、ピーク時には待機車両も飽和状態となり、駐輪場も慢性的に不足し通行に支障ときたしている。これらの状況を改善し利用者の安全性と利便性を向上させる必要が生じたために開始した			
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？			
変化していない		変化した内容	国、県の補助金の確保が難しい

3 評価（SEE）	目的 妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
		自治事務	根拠法令	道路法	
		この事務を行う根拠又は理由			駅周辺のにぎわい空間の創出とともに、利用者の利便性と安全性の向上を図る必要があるため
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	結びつく	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	できる	拡大	内容	
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充（意図の段階は正しいか）又は絞込み）はできませんか？	できる	追加	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	理由又は内容	依存財源も限られている	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	庁内事業	類似事業名	ある
(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？（仕様や工法の変更、住民の協力など）	ある	内容			
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？（従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？）	ある	内容			
(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	現状で適正	内容		

4 改革改善案（PLAN）	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	コストの方向性	増加	事業費の方向性	増額	成果の方向性	向上	
(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	将来を見据え、周辺施設の整備方針との整合を図りつつ、利便性が高くにぎわいのある空間形成をさらに進める必要がある。						

施策主管次長所見欄	施策主管次長意見
1次評価どおり 2次評価を希望	